

# 予算特別委員会への付託議案

●令和4年度養老町  
一般会計補正予算  
(第9号)

**問** マイナンバーカードの申請数は。

**答** 2月28日現在で申請件数は2万215人、申請率73・83%。

**問** 私立保育所等運営事業469万5千円の算定根拠は。

**答** 運営費は園児の人数、年齢で区分が分けられ、さらに配置される職員、施設状況により加算され各園の交付額が算定される。今回の補正は人事院勧告による公定価格の改定により増額補正とするもの。

**問** 揚排水機管理手当等657万6千円増、農業水利施設省工本推進事業費227万2千円増の要因は。

**答** 電気代高騰による補正増であり、国から高騰価格の7割が助成され、それを除いた分を予算計上するもの。

**問** 地方交付税の増額理由は。

**答** 普通交付税として国の補正予算により12月に7645万5千円が追加交付され、7月の交付決定額23億6353万円と当初予算との差額23833万円との合計1億28万5千円を増額。

●令和5年度養老町  
一般会計予算

**問** 職員採用について、民間では採用前に本人の適正を見抜いて所属を決めて採用しているところもあり、新しい視点での職員採用も検討してほしい。また、子どもを連れて出勤できる取り組みをしている自治

体もあり、子育て支援や就業しやすい環境づくりを検討願いたい。

**答** 最近では民間の採用時期が早く採用について苦慮しているところがあるが、各部門のスペシャリスト育成など、効果的な採用方法を議論していきたい。子どもを連れて出勤については、スペースの問題等課題はあるが、まずは男性職員の育児休業取得を推進していきたい。

**問** 地方バス路線維持事業について、各路線の負担金額は。

**答** 名阪近鉄バス海津線が地域間幹線系統確保維持補助金として725万7千円、綾里養北線が自主運行バス運航費補助金として816万8千円。

**問** 町勢要覧更新について、作成部数やページ数、単価などの概要は。

**答** 本編32ページ、資料編12ページで500部作製予定。作成費などを含んだ1部あたりの単価は5020円となる。町をPRするための資料として活用するものであり、町民全体への配布は想定していないこと。

**問** 養老サポーターワールド事業のヘルスツーリズムモニターングキャンペーンの詳細は。

**答** ヘルスツーリズムモニターングキャンペーンは、町内への来訪を促すためのキャンペーンとして商品化を目指しているヘルスツーリズムの一般販売に合わせサポーターに参加を呼び掛けるもの。



**問** 個別支援計画は、災害時に避難する経路や避難場所、その際に誰が支援者になるかなどをまとめた計画であり、対象者は1076人。令和8年度から計画作成が義務化されるため、令和5年度から順次進めていくもので、地域の民生委員や区長にも協力を仰ぎながら支援計画を作成していきたい。

**問** 次期子育て支援計画策定アンケート調査について、調査対象者とアンケート内容の詳細は。

**答** 就学前児童及び小学生の保護者を対象に、保護者の就労状況、子育て支援事業の利用状況、子育て支援に対する満足度や不安感などの項目についてのアンケートを実施する予定。

**問** 子どもの遊び場整備補助金の詳細は。

**答** 現在は町道主要道に限って除雪しているが、来年度は新規事業として地域での除雪機購入に対する補助金を計上しているため、その利用促進を図りたい。

**問** 除雪対策費について、昨年度大雪時に山間部や高齢者世帯にて雪かきが困難な状況もあつたが対策は。

**答** 現在町道主要道に限って除雪しているが、来年度は新規事業として地域での除雪機購入に対する補助金を計上しているため、その利用促進を図りたい。

**問** 空き家対策事業について、町として来年度どのような対応を考えているか。

**答** 除却や強制的な対応も考えながら、併せてサテライト空き家相談事業を、専門家とともに空き家に対する相談会を毎月実施し、その参加者を広く募りながら、今後空き家問題の解消に取り組んでいく。

**問** ふるさと納税推進事業について寄付金が10%減った要因は。

**答** 物価高騰などにより、日用品関係の返礼品が好まれたことにより減額となったと推測している。



**問** 個別支援計画作成について対象人数と計画策定の時期は。

**答** 3月補正予算計上した電子版の補助分と新年度予算計上した紙版の補助分とあわせて実施する。発行金額や内訳は商工会と協議のうえ決定していく。

**問** 橋梁長寿命化計画事業について、15m以上の大規模橋梁補修工事の対象箇所は。

**答** 栗笠地区の作造橋などを予定している。

**問** 社会資本整備総合交付金事業の小倉西小倉線拡幅工事の幅員と延長は。また、それ以外の事業計画は。

**答** 小倉西小倉線拡幅工事は延長が600m、幅員が6・5m。それ以外の事業として、継続で実施している蛇持角田線の歩道整備、大巻53号線の道路拡幅工事、船附地内舗装改修など。

**問** 除却や強制的な対応も考えながら、併せてサテライト空き家相談事業を、専門家とともに空き家に対する相談会を毎月実施し、その参加者を広く募りながら、今後空き家問題の解消に取り組んでいく。

**問** 野良猫、飼い主不明猫を飼いたい人に不妊去勢手術の一部補助をするもので、飼い猫は対象としていない。保護・捕獲し、手術するために連れてきた方に誓約書を書いてもらう等により野良猫、飼い主不明猫であると確認していく予定。



**問** 斎苑費の維持管理費について清華苑施設の経年劣化に伴う施設改修はどのような年次計画で進めているか。

**答** 火葬炉は毎年補修工事を行っており、業者による保守点検結果を踏まえ、10年かけて補修工事を行っていきながら運営していく。空調施設については水冷チャラー取り換え工事設計委託業務を計上している。

**問** 塵芥処理費のこみ分別アプリの導入の詳細は。

**答** こみの日の朝にお知らせする機能や、分別方法の検索などができるアプリを導入し、4箇国語の多言語への対応を検討している。稼働時期は広報等でお知らせするが、要望によっては地域に説明に向くことも考えている。



**問** 飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助事業の事業内容は。

**問** 個人住宅の屋根や敷地内に設置されるものが対象となり、今年度実績は太陽光発電設備3件、蓄電池2件、合計144万1千円を補助した。来年度見込みとして、太陽光発電設備については、1KWあたり補助額7万円、5KWを上限とし16件を見込んでいく。蓄電池については、1KWあたり補助額5万2千円、5KWを上限とし、

**問** 区や自治会等が維持管理を行っている地域の遊び場の遊具について、遊具を新設する場合や老朽化による更新または修繕、遊具の安全点検の費用を助成するもの。新設は補助率2分の1で上限30万円、修繕は補助率2分の1で上限10万円、点検は補助率5分の4で上限8万円を検討している。

**問** 太陽光発電設備等設置補助金の今年度実績及び来年度見込みと補助内容は。

**答** 個人住宅の屋根や敷地内に設置されるものが対象となり、今年度実績は太陽光発電設備3件、蓄電池2件、合計144万1千円を補助した。来年度見込みとして、太陽光発電設備については、1KWあたり補助額7万円、5KWを上限とし16件を見込んでいく。蓄電池については、1KWあたり補助額5万2千円、5KWを上限とし、